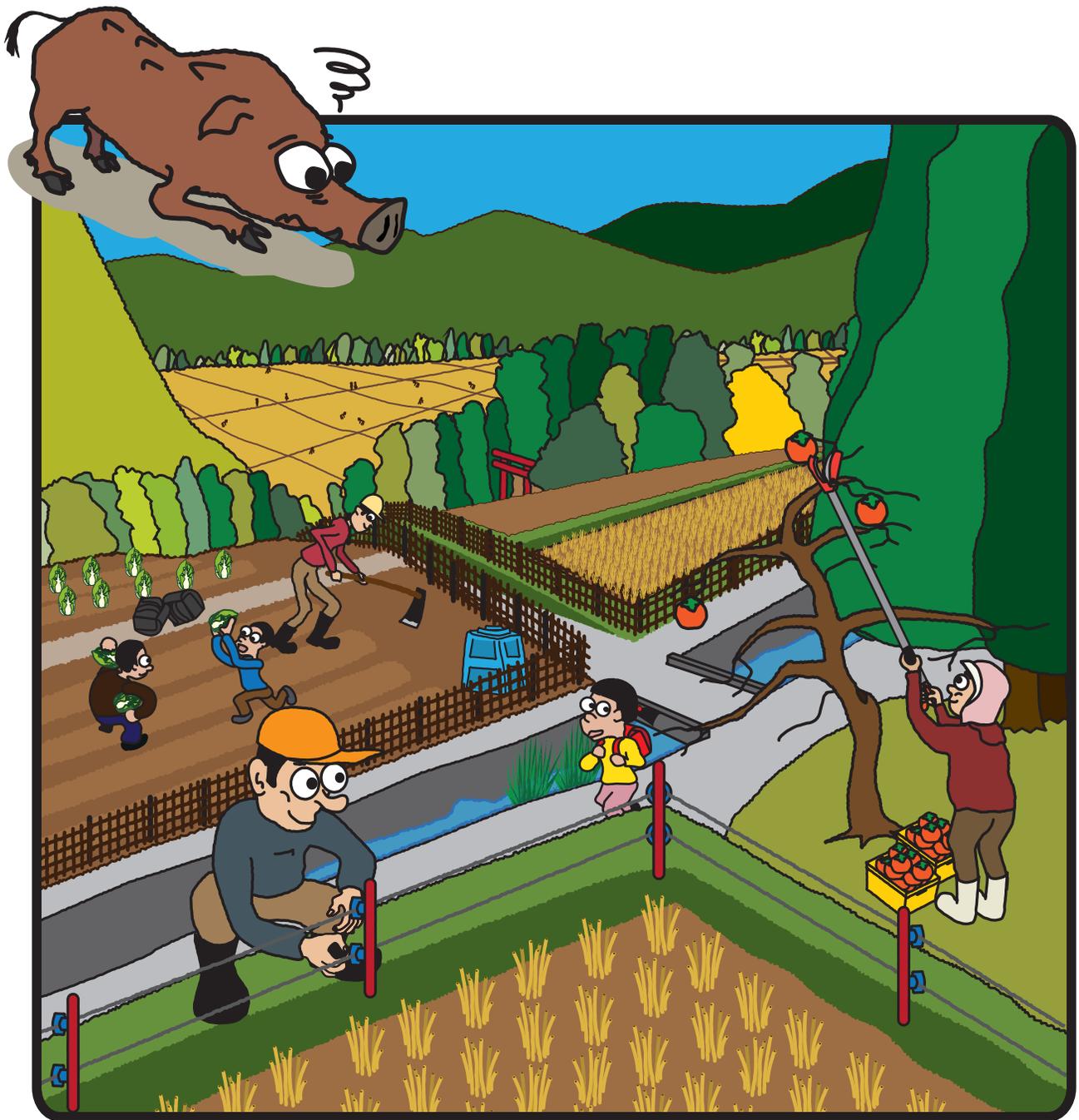


# イノシシから田畑を守る！

## イノシシ被害対策マニュアル

～イノシシに強い集落環境づくり～



徳島県

# イノシシを知る



体毛では感電しない



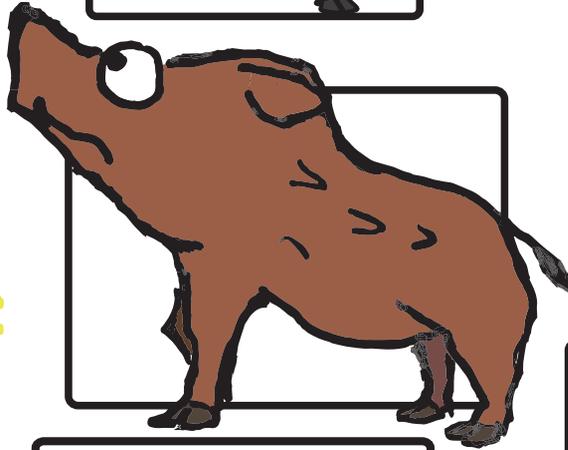
鼻で感電



鼻の力  
50~70kg



学習能力が高く慎重



昼も夜も活動



跳躍力

1m以上

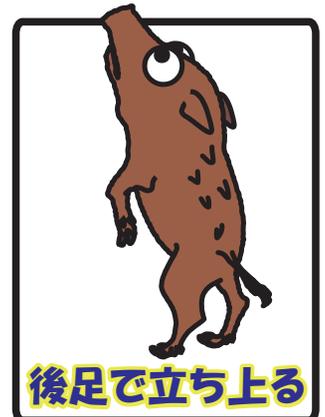


多産

4~5頭



雑食性



後足で立ち上る

## イノシシの痕跡

足跡

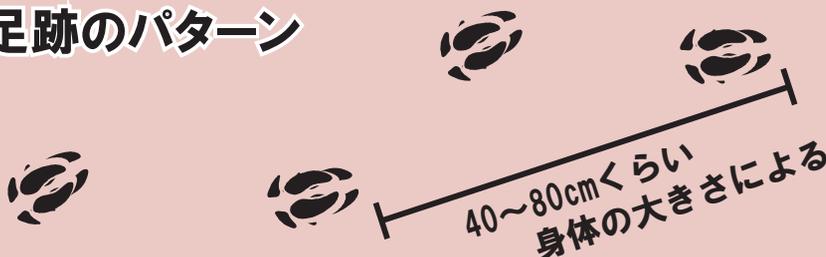


後ろの2つ（副蹄）は必ずつくとは限らない（シカの場合は副蹄の位置が高いのでつきにくい）

食痕（タケノコ）



足跡のパターン



後足が前足の上に重なる

40~80cmくらい  
身体の大きさによる

Q.「なぜ里に降りてくるのか？」 <sup>答えは簡単</sup> A.「里の方が魅力的だから！」



・ドングリ・果実・昆虫・ミミズ、あるにはあるが

・農作物・生ゴミ・放棄果樹・茂み 高栄養で簡単

対策の考え方 → 「魅力をなくしてイノシシが行きたくなくなる集落環境に！」

<p>入りがよい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農作物・放棄果樹</li> <li>・生ゴミ・堆肥置き場</li> </ul>	<p>食物が手に入りやすいか？</p> <p><b>対策</b> →</p>	<p>入りにくい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これらを防護柵で囲う</li> <li>・これらを除去する</li> </ul>
<p>安全そう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・藪などの隠れ場所</li> </ul>	<p>安全そうか？</p> <p><b>対策</b> →</p>	<p>不安</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・刈り払われ身を隠せない</li> </ul>

# 1. 集落をみんなで点検

## ① 相手を知る

イノシシの痕跡や習性を学び知識を身につけて適切な対策をしましょう



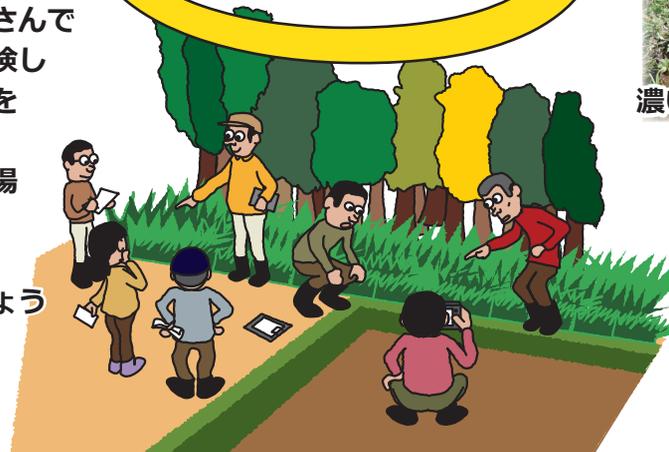
## ③ 情報の共有

全員で点検の結果を情報共有する事が大切！みなさんで対策の方針を検討しましょう



## ② 現地を点検

実際にみなさんで集落内を点検し学んだことを活かして痕跡やえさ場隠れ場所がないか確認しましょう



## 2. 誘引物の管理 工サ場と隠れ場の除去



**食物**

人間には  
価値がなくても

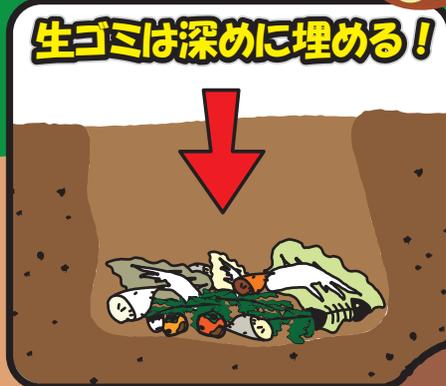
**隠れ場**

すぐに逃げ込める安心感



簡単に  
食べさせない

or



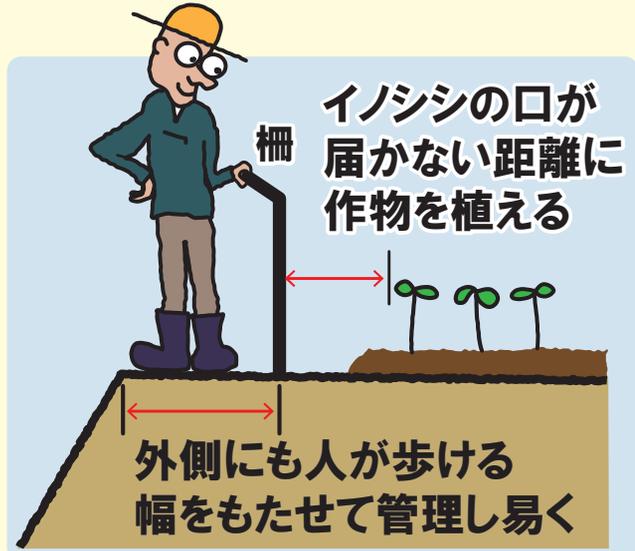
身を隠せる場所をなくす



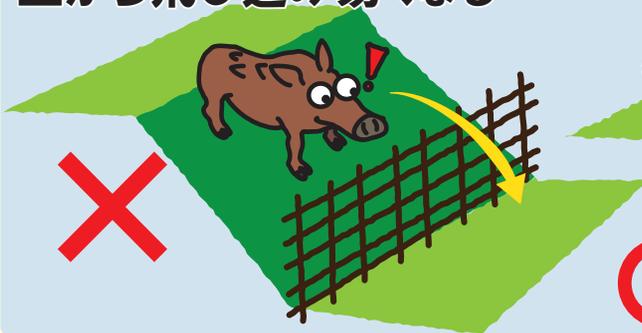
# 3. 柵で囲う

## 柵の設置方法

四方をすべて囲う  
(開口部があると侵入され易い)



斜面のすぐ下や斜面中は  
上から飛び込み易くなる



## ワイヤーメッシュ柵

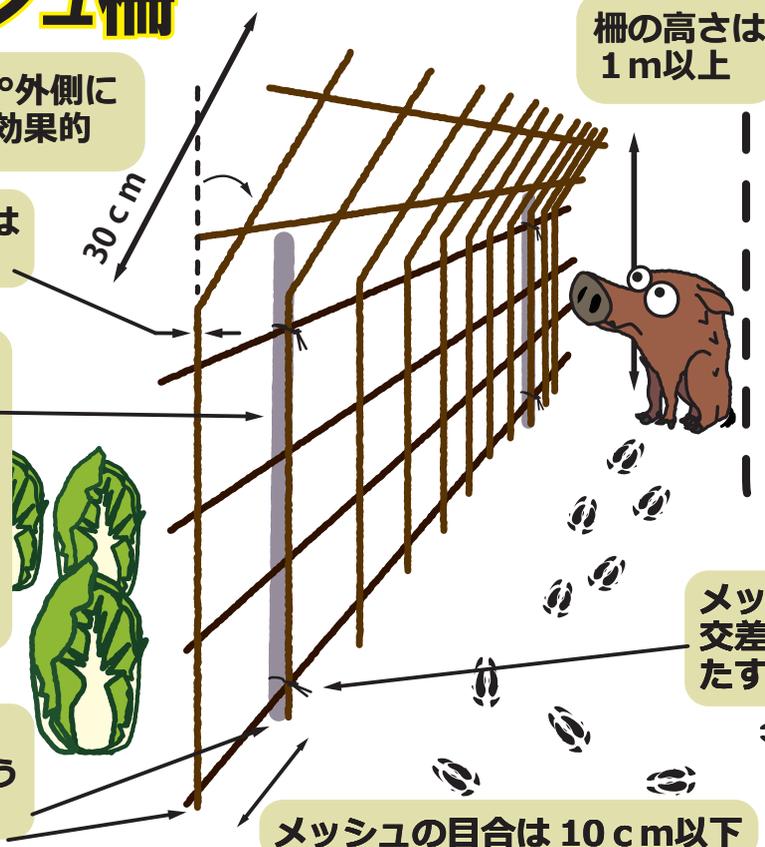
20 ~ 30°外側に  
曲げると効果的

線径 (鉄線の直径) は  
5mm 以上

支柱は  
ワイヤーメッシュ  
の内側 (圃場側)  
に設置

直径13mm以上の  
異型鉄筋を  
30cm以上打ち込む

メッシュの下部に  
すき間ができないよう  
地面に打ち込む



柵の高さは  
1m以上



メッシュの  
交差するところで  
たすきがけに結束

メッシュの目合は10cm以下

# 電気柵

自作品は危険！ PSE マークの付いた製品を

適正電圧は  
4000 ~ 8000V  
こまめに点検



支柱には  
絶縁体  
を用いないと  
漏電します

断線に備えて  
50 ~ 100m 毎に  
上下線を結線しましょう



アース棒同志は 2m 以上離して  
湿り気のあるところに  
深さ 30cm 以上打ち込む

高低差が  
あるところは  
支柱を増やし  
通電線の  
高さの間隔を  
維持する

その他にも...

- ・危険である旨の表示をすること
- ・感電により人に危険を及ぼすおそれのないよう  
出力電流が制限される電気さく用電源装置を使いましょう
- ・使用電圧 30V 以上の電源から電気の供給を受け、かつ  
人が容易に立ち入る場所に電気さくを施設するときは漏電遮断器を施設すること
- ・容易に開閉できる箇所に専用のスイッチ（開閉器）を施設すること

アース棒から湿り気のある土を經由して  
イノシシの体内を通り電線と感電させます  
(コンクリートや舗装は通電しにくいので)  
柵は舗装から離して設置

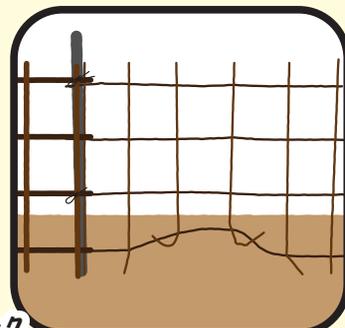
## 柵のチェックポイント



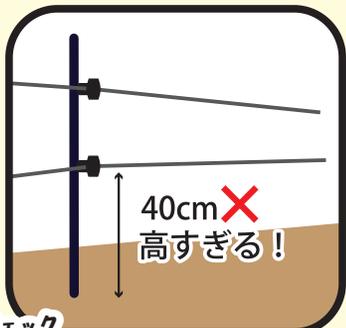
チェック  
✓ すき間がないか点検  
(押し広げて侵入されます)



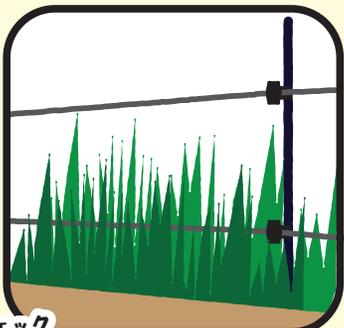
チェック  
✓ 全周を囲いましょう  
(端があると回り込まれます)



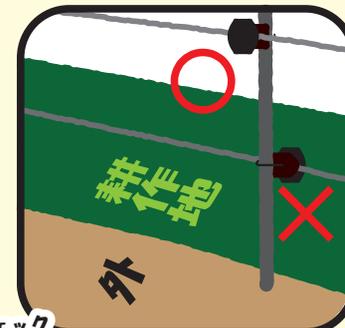
チェック  
✓ 強度不足の資材は使わない  
(変形して侵入の原因に)



チェック  
✓ 下段は約 20cm  
(敏感な鼻が感電する高さに)



チェック  
✓ 柵周りの草刈りを徹底  
(草などが当たると電圧が低下)



チェック  
✓ 碇子(がいし)は外側  
(内側だと支柱が倒されます)

## 4. 点検と補修

「柵を設置したら終わり」ではありません！

対策をただけでは効果は維持できません。頻繁に見回ることによって効果を持続させることができます。

### エサを与えていないか？

- 放棄果樹がないか →  収穫するか、思い切って伐採する
- 二番穂が育っていないか →  刈り取るか、すき込む
- 生ゴミは食べられていないか →  食べられないように囲うか、深く埋める

### 隠れ場を与えていないか？

- 耕作地周辺の藪が茂っていないか →  刈り払う
- 耕作地以外の山際や耕作放棄地の藪が茂っていないか → 見通しを良くして柵の不具合を早期発見

### 柵の効果は損なわれていないか？

- 柵が破損していないか  
とくに台風や大雪の後には倒木による破損がないか →  すぐ補修、侵入路だと学習させない  
(容易に通れると認識されてしまうと)  
(執着され、何度も壊される)
- 事前に柵周辺の倒れそうな樹木を除去
- 潜り込む隙間は開けられていないか →  すぐ埋めて補強、侵入路だと学習させない
- 電気柵の電圧は低下していないか  
こまめに(毎週)チェック →  漏電箇所の対策や機材を適切な状態に
- バッテリーが弱っていないかチェック
- 農閑期に電気柵を通电せずに放置していないか →  農閑期にも通电させる、もしくは撤去  
(簡単に通過できることを学習されると)  
(効果がない)

### その他...

- 見回りは柵の外からも、イノシシの目線でチェックしましょう
- 農閑期も見回りを継続して、人がいる気配を絶やさないようにしましょう
- 柵や林道のゲートの管理を徹底しましょう (昼夜活動するので、開けっ放しは厳禁)

# かんたん！みんなでやれば、被害は減る！

## 獣害対策の5ヶ条

- その1 相手を知ろう
- その2 エサをなくそう
- その3 柵で囲おう
- その4 隠れ場、逃げ場をなくそう
- その5 こまめに集落を点検しよう



## 鳥獣被害対策のご相談は

最寄りの市町村、JAまたは下記の県の相談窓口へ

### 県の相談窓口

お問い合わせ先	管轄区域	電話番号
農林水産政策課 農村・鳥獣対策担当		088-621-2378
農林水産総合技術支援センター 高度技術支援課		088-674-1922
徳島農業支援センター	徳島市、小松島市、勝浦町、上勝町、 佐那河内村、石井町、神山町	088-626-8771
鳴門藍住農業支援センター	鳴門市、松茂町、北島町、藍住町、 板野町、上板町	088-692-2515
吉野川農業支援センター	吉野川市、阿波市	0883-26-3971
阿南農業支援センター	阿南市、那賀町	0884-24-4183
美波農業支援センター	牟岐町、美波町、海陽町	0884-74-7491
美馬農業支援センター	美馬市、つるぎ町	0883-53-2314
三好農業支援センター	三好市、東みよし町	0883-76-0691

「イノシシから田畑を守る！

イノシシ被害対策マニュアル ～イノシシに強い集落環境づくり～

平成29年3月

企画・発行 徳島県農林水産政策課

製 作 (株)野生動物保護管理事務所